

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社サト一商会
 コード番号 9996 URL <http://www.satoh-web.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 玉根 裕
 (氏名) 岡本 雄次郎
 配当支払開始予定日 平成24年12月4日
 TEL 022-236-5600

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	22,028	10.5	549	55.7	704	56.0	518	107.2
24年3月期第2四半期	19,935	△8.7	352	△21.2	451	△11.7	250	△16.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 510百万円 (110.4%) 24年3月期第2四半期 242百万円 (△11.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	57.95	—
24年3月期第2四半期	27.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	28,047		17,957	64.0			2,008.35	
24年3月期	27,328		17,554	64.2			1,963.25	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 17,957百万円 24年3月期 17,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年3月期	—	12.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,300	5.6	1,136	5.5	1,274	1.2	838	21.3	93.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	9,152,640 株	24年3月期	9,152,640 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	211,092 株	24年3月期	211,101 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	8,941,532 株	24年3月期2Q	8,941,571 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における東北の経済環境は、東日本大震災後の復興需要が拡大し始めましたが、その効果は限られた地域や業界に留まっております。また、梅雨明け後の気温上昇や長引いた猛暑による需要の減少などもあり、景気の回復力は弱く復興需要の影響も限定的なものとなりつつあり、踊り場の局面が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、徐々に復興に向けた動きがみられるものの、福島県においては原発事故による影響の長期化が重なり、いまだ震災前の観光客数の水準には戻らず厳しい状況が続いております。

このような環境のもと当社グループは、営業基盤の強化とシェア拡大のため、栃木県下都賀郡壬生町に物流機能を備えた営業所施設を建設中で、11月中旬に営業開始いたします。また、宮城県石巻市に小売店舗を建設中で10月下旬、及び仙台市中心部一番町に今年度3店舗目の小売店舗を新設し、11月中旬に営業開始いたします。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高220億28百万円（前年同四半期比10.5%増）、営業利益5億49百万円（同55.7%増）、経常利益7億4百万円（同56.0%増）、四半期純利益は、震災により本社倉庫・事務所等の被害に対して施設復旧整備助成金などもあり、5億18百万円（同107.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、昨年の東日本大震災にて、止む無く廃業等された得意先様を多く持つ沿岸部を除けば、ほぼ全業種にて前年、前々年を上回り、かつ、重点・底上げ得意先の深耕も比較的順調に進みました。業績拡大が進んだ地域及び業種は、宮城県では製菓、外食部門、拠点においては岩手、北関東エリアが大きく業績拡大に貢献致しました。下期におきましても業種別政策を強化するため、業態別の専門性の高い提案会を継続して実施してまいります。一方、得意先様の復興にお役に立つため、消費者ニーズに対応した商品開発、メニュー開発、売り場づくりのご提案、また、「復興支援キャンペーン」を始めとした販売促進活動や調理技術の支援など、お客様と一緒に集客アップにも取り組んでまいりました。特に商品開発では「ジェフサブブランド」「サトーブランド」のオリジナル商品の商品開発を行い、同業他社との差別化戦略にも重点を置いた商品の提供に努めてまいりました。

この結果、売上高192億29百万円（前年同四半期比11.9%増）、セグメント利益（営業利益）は5億99百万円（同67.7%増）となりました。

小売業部門におきましては、昨年の東日本大震災から落ち着きを取り戻し、震災特需による反動と宮城・福島両県産米の前年収穫量減少による品薄の影響もあり、一般の客数が減少となりました。一方、6月下旬に佐沼店を新規オープンし、宮城県北部地域の飲食業者様へ利便性とサービス向上に努めてまいりました。また、石巻蛇田地区で本格営業までの間、仮設店舗を設置することにより、震災による閉店でご迷惑をお掛けしていた石巻地域、及び沿岸地域のお客様にお役に立つことが出来ました。その他の店舗におきましても、ダイレクトメールによる販売促進活動や、冷凍素材品を中心とした新商品を積極的に投入したことにより、飲食業者様への売上高は前年同四半期比で5%増と好調に推移しました。新店を除いた既存店における飲食業者様への売上高でも、前年同四半期比で100.5%と推移しており、売上高を伸ばすことができましたが、新店の出店諸費用を計上したことにより営業利益は前年を下回りました。

この結果、売上高は27億99百万円（前年同四半期比2.0%増）、セグメント利益（営業利益）は1億78百万円（同15.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ7億18百万円増加し、280億47百万円となりました。これは主に、現金及び預金が11億86百万円、受取手形及び売掛金が2億63百万円、有形固定資産が3億75百万円、投資有価証券が2億60百万円それぞれ増加し、有価証券が14億19百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末と比べ3億15百万円増加し、100億89百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が6億23百万円増加し、未払法人税等が2億63百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ4億3百万円増加し、179億57百万円となりました。これは主に、四半期純利益5億18百万円及び剰余金の配当1億7百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.0%（前連結会計年度末64.2%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ17億13百万円減少し、53億75百万円（前年同四半期64億15百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は5億89百万円（前年同四半期4億95百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益及び仕入債務の増加並びに法人税等の支払によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は21億95百万円（前年同四半期98百万円の獲得）となりました。これは主に、有価証券及び投資有価証券の償還並びに有価証券、投資有価証券及び有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億7百万円（前年同四半期1億7百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支出によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月11日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予測に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	789,366	1,975,676
受取手形及び売掛金	5,304,729	5,568,487
有価証券	8,519,500	7,100,000
商品	1,462,886	1,657,250
その他	602,022	509,916
貸倒引当金	△15,443	△16,527
流動資産合計	16,663,061	16,794,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,479,664	1,448,592
土地	3,896,241	3,998,298
その他（純額）	320,732	625,494
有形固定資産合計	5,696,639	6,072,385
無形固定資産	61,760	53,949
投資その他の資産		
投資有価証券	3,611,111	3,871,919
その他	1,341,424	1,294,494
貸倒引当金	△45,198	△39,975
投資その他の資産合計	4,907,337	5,126,437
固定資産合計	10,665,736	11,252,773
資産合計	27,328,798	28,047,575
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,497,699	8,120,736
短期借入金	580,000	580,000
未払法人税等	502,500	239,300
賞与引当金	256,010	311,398
災害損失引当金	5,601	—
営業所閉鎖損失引当金	20,000	20,000
その他	676,479	591,241
流動負債合計	9,538,290	9,862,676
固定負債		
退職給付引当金	28,231	31,230
役員退職慰労引当金	194,470	182,919
その他	13,287	12,970
固定負債合計	235,989	227,120
負債合計	9,774,280	10,089,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,725	1,441,721
利益剰余金	14,964,895	15,375,788
自己株式	△187,631	△187,619
株主資本合計	17,624,789	18,035,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△70,270	△77,911
その他の包括利益累計額合計	△70,270	△77,911
純資産合計	17,554,518	17,957,778
負債純資産合計	27,328,798	28,047,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	19,935,763	22,028,847
売上原価	16,553,644	18,297,823
売上総利益	3,382,119	3,731,024
販売費及び一般管理費	3,029,384	3,181,665
営業利益	352,735	549,359
営業外収益		
受取利息	37,119	28,672
受取配当金	2,536	3,929
持分法による投資利益	15,604	13,623
雇用調整助成金	17,251	—
投資有価証券償還益	—	79,022
その他	34,702	37,293
営業外収益合計	107,214	162,541
営業外費用		
支払利息	1,476	1,506
賃貸収入原価	7,139	6,231
その他	93	111
営業外費用合計	8,709	7,849
経常利益	451,239	704,051
特別利益		
貸倒引当金戻入額	17,374	—
災害見舞金	34,795	—
補助金収入	—	134,660
その他	—	5,499
特別利益合計	52,169	140,159
特別損失		
固定資産売却損	—	3,088
関係会社株式売却損	33,685	—
災害による損失	27,505	—
その他	27,027	696
特別損失合計	88,217	3,785
税金等調整前四半期純利益	415,191	840,425
法人税、住民税及び事業税	190,760	240,961
法人税等調整額	△25,704	81,272
法人税等合計	165,055	322,234
少数株主損益調整前四半期純利益	250,136	518,191
四半期純利益	250,136	518,191

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	250,136	518,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,519	△7,640
その他の包括利益合計	△7,519	△7,640
四半期包括利益	242,617	510,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,617	510,550
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	415,191	840,425
減価償却費	135,949	131,039
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,902	△11,551
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△221,898	△5,601
賞与引当金の増減額 (△は減少)	51,298	55,388
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34,460	△4,138
受取利息及び受取配当金	△39,656	△32,602
支払利息	1,476	1,506
持分法による投資損益 (△は益)	△15,604	△13,623
災害損失	27,505	—
補助金収入	—	△134,660
関係会社株式売却損益 (△は益)	33,685	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	3,088
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	△79,022
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,042,172	△263,757
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△361,874	△194,548
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,374,229	623,036
その他	202,572	2,707
小計	533,144	917,688
利息及び配当金の受取額	45,317	40,415
補助金の受取額	—	134,660
利息の支払額	△1,489	△1,525
法人税等の支払額	△63,937	△502,020
災害損失の支払額	△17,227	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	495,806	589,218
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,000,000
有価証券の取得による支出	△1,000,000	△3,400,000
有価証券の償還による収入	1,000,000	2,900,000
有形固定資産の取得による支出	△228,699	△521,381
有形固定資産の売却による収入	—	15,500
無形固定資産の取得による支出	△734	△20,523
投資有価証券の取得による支出	△2,451	△1,502,404
投資有価証券の償還による収入	—	1,329,229
長期預金の期日前払戻による収入	300,000	—
関係会社株式の売却による収入	9,500	—
その他	21,027	4,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	98,642	△2,195,186

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△31	7
配当金の支払額	△107,298	△107,298
その他	—	△319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,330	△107,609
現金及び現金同等物に係る換算差額	△93	△111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	487,026	△1,713,689
現金及び現金同等物の期首残高	5,928,469	7,089,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,415,495	5,375,676

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	17,191,556	2,744,207	19,935,763	—	19,935,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,191,556	2,744,207	19,935,763	—	19,935,763
セグメント利益	357,354	209,738	567,093	△214,357	352,735

(注) 1. セグメント利益の調整額△214,357千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	19,229,619	2,799,228	22,028,847	—	22,028,847
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,229,619	2,799,228	22,028,847	—	22,028,847
セグメント利益	599,136	178,004	777,140	△227,781	549,359

(注) 1. セグメント利益の調整額△227,781千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の各セグメント利益への影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。